

開催された競技



東京の観光名所を巡る パラリンピックマラソン

パラリンピックのフィナーレを飾るマラソンは、視覚障害のクラスで女子の道下美里選手が悲願の金メダル、リオ2016大会の銀に続き、2大会連続のメダルを獲得した。男子は視覚障害のクラスで堀越信司選手と、腕に障害のあるクラスの永田務選手がともに銅メダルを獲得した。

パラリンピック マラソンコース全体図

札幌に変更されたオリンピックとは異なり、パラリンピックのマラソンコースは当初の予定から変更なく、皇居外苑など東京の観光名所を巡った。



©フォート・キシモト

東京2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会基本情報



東京2020オリンピック競技大会

開催期間……2021年7月23日(金)～8月8日(日)
競技………33競技339種目
会場………42会場
参加………205の国・地域と難民選手団 / 1万1,259人
日本のメダル獲得数……金27、銀14、銅17

東京2020パラリンピック競技大会

開催期間……2021年8月24日(火)～9月5日(日)
競技………22競技539種目
会場………21会場
参加………162の国・地域と難民選手団 / 4,403人
日本のメダル獲得数……金13、銀15、銅23

関連サイト



千代田区



日本オリンピック委員会 (JOC)



日本パラリンピック委員会 (JPC)

2022年1月
編集・発行 千代田区地域振興部生涯学習・スポーツ課
電話 03-3264-2111 (代表)



この冊子は環境に配慮し、FSC®認証材及び管理材料からつくられています。
印刷に植物油インキを使用し、廃液の排出を少なくした水なし印刷方式を採用しています。

東京2020大会の 記録

～大会に向けた取り組みと大会レガシー～



千代田区

- 千代田区内の開催競技をマップで見てもよう
- 年表で振り返る東京2020大会の軌跡
- 東京2020大会に向けた千代田区の取り組み ほか

千代田区内で

柔道は過去最大の メダルラッシュ

東京1964大会と同じ日本武道館で行われた柔道。オリンピックでは男子73kg級の太田将平選手の2連覇など、個人で史上最多となる金メダル9個を獲得したほか、銀1個と銅1個、混合団体の銀を合わせて12個のメダルを獲得する大躍進を見せた。パラリンピックでは、男子66kg級の瀬戸勇次郎選手、女子70kg級の小川和紗選手がそれぞれ銅メダルを獲得した。



©フォート・キシモト

オリンピック競技 初採用の空手

琉球王国時代の沖縄が発祥とされる空手がオリンピックの正式競技として初採用。武道の聖地である日本武道館で行われた。無類の強さを誇る喜友名諒選手が男子形で金メダルを獲得して初代王者となり、女子形の清水希容選手が銀メダル、男子組手75kg超級の荒賀龍太郎選手が銅メダルを獲得した。

日本代表の健闘 ウェイトリフティング(オリンピック) パワーリフティング(パラリンピック)

東京国際フォーラムで行われたウェイトリフティングとパワーリフティング。オリンピックでは、女子59kg級の安藤美希子選手が逆転で銅メダル。ロンドン2012大会で銀、リオ2016大会で銅を獲得した三宅宏実選手に続き、3大会連続のメダル獲得となった。パラリンピックでは、男子72kg級の宇城元選手が6位、女子79kg級の坂元智香選手が8位に入賞し、各国の代表と競い合った。



©フォート・キシモト

